

（9）文化施設

1）施設概要

① 施設一覧

本市の文化施設は、アルカス SASEBO、市民会館及び市民文化ホールの3施設です。そのうち、アルカス SASEBO は、「長崎県シーサイドホール・アルカスさせぼ」及び「佐世保市立地域交流センター」の複合文化施設であり、本市だけでなく、長崎県北地域住民を対象とした施設となっています。

市民会館は、昭和37年に地域の文化振興・交流の拠点として建設し、築48年を経過しています。

市民文化ホールは、第1次世界大戦の凱旋記念館として大正12年にレンガ造りで建設され、佐世保市街地にある近代化遺産として、国の登録有形文化財に指定されています。

各施設が保有する機能をみると、アルカス SASEBO（大ホール2,000席）と市民会館（大ホール1,408席）は、定員1,000人以上を超える大ホールが設置されています。アルカス SASEBO はその他に中ホール（500席）、イベントホール（350席）、会議室やリハーサル室、練習室を保有しています。

図表 設置目的

施設名称	設置目的
アルカスSASEBO	佐世保市及び県北地域住民の文化創造活動及び地域活性化のため
市民会館	市民の文化向上と福祉増進
市民文化ホール	文化、芸術の振興を図り、もって市民の文化教養の向上に資するため

図表 施設一覧

施設名称	住所	建築年度 (年度)	延床面積 (㎡)	保有機能					備考
				大ホール	中ホール	小ホール	会議・集会	リハーサル室 ・練習室	
1 アルカスSASEBO	三浦町2番3号	平成12	5,354.81	● 2,000席	● 500席	● 350席	●	●	男女共同参画推進センターが併設
2 市民会館	花園町10番19号	昭和37	4,417.00	● 1,408席			●		
3 市民文化ホール	平瀬町2番地	大正12	1,305.49			● 300人収容	●		国の登録文化財
合計		—	11,077.30	2施設	1施設	2施設	3施設	1施設	

※アルカス SASEBO の延床面積は市の専有部分と県市共有部分との合算です。（ホールは県専有部分であり、男女共同参画推進センターは文化施設ではないため、延床面積には含まれていません。）

② 事業内容及び開館時間等

文化施設では、ホール・会議室等スペースの貸出しを行っています。また、アルカス SASEBO は、コンサートや市民参加型の文化芸術事業を行っています。

図表 事業内容及び開館時間等

施設名称	事業内容		開館時間	休館日	開館日数 (平成22年度)
アルカス SASEBO	ホール・会議室等 スペースの貸出	主催事業の企画・開催	午前9時～午後10時	毎月第2・第4水曜日・ 12月29日～1月3日	335日
市民会館	ホール・会議室等 スペースの貸出	—		火曜・12月29日～1月3日	303日
市民文化ホール	ホール・会議室等 スペースの貸出	—		火曜・12月29日～1月3日	307日

③ 予約方法・使用料金

アルカス SASEBO、市民会館のホールは使用月の12ヶ月前から予約が可能です（アルカス SASEBO では文化活動の利用について1ヶ月前より優先予約が可能）。また、文化施設同士で予約可能な月をずらしたり、休館日を重複させたりしないことで、施設利用の機会に幅を持たせる工夫をしています。

図表 施設別の予約方法・使用料金

施設名称	予約方法等	使用料金
アルカス SASEBO	電話での仮予約後、利用計画書等の必要資料を提出し予約受付。 (ホール:使用月の12ヶ月前、会議室:使用月の6ヶ月前、練習室:3ヶ月前) (文化活動は各1ヶ月前より優先予約可能)	有料
市民会館	利用申込:所定の使用願書に記入、捺印の上持参又は郵送 申込可能期間:利用月の12ヶ月前の初日より受付	有料
市民文化ホール	利用申込:所定の使用願書に記入、捺印の上持参又は郵送 申込可能期間:利用月の3ヶ月前の初日より受付	有料

※使用料金についての詳細は、各施設にお問い合わせ下さい。

④ 配置状況

文化施設3施設は、佐世保中央エリア（佐世保中央地域）に配置しています。

図表 配置図

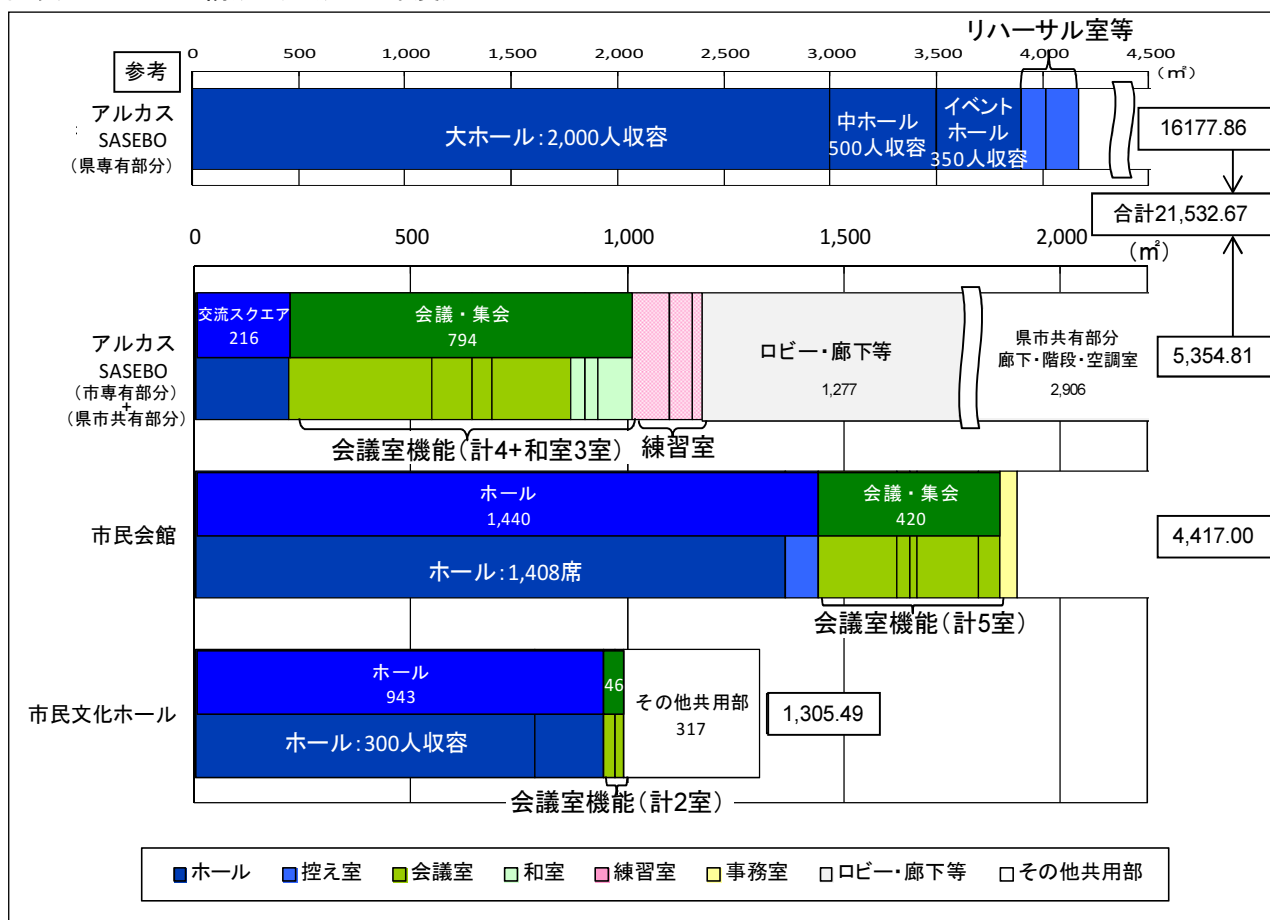


⑤ スペース構成

文化施設の延床面積は、アルカス SASEBO の市の専有部分と県市共有部分との合算で 5,355 m<sup>2</sup>、市民会館が 4,417 m<sup>2</sup>、市民文化ホールが 1,305 m<sup>2</sup>となっています。アルカス SASEBO は市の専有部分（交流スクエア、会議室、音楽練習室等）と県市共有部分と県の専有部分（大ホール、中ホール、イベントホール等）があります。

市民会館及び市民文化ホールは、ホールが中心のスペース構成となっており、その他に会議室等があります。

図表 スペース構成（平成 22 年度）



2) 実態把握

① 建物状況

■ 文化施設の建物総合評価

平成22年度の文化施設3施設の建物状況について評価を行いました。

図表 建物状況（平成22年度）

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	エレベーター※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	アルカスSASEBO	平成12	21,533	-	10	-	10	○	○	○	○	○	○	×	×	○	56,062	113,580	13,532	2,604	5,275	628
2	市民会館	昭和37	4,417	×	48	平成10	12	×	○	○	×	○	○	×	×	×	5,980	33,100	364	1,354	7,494	82
3	市民文化ホール	大正12	1,305	×	87	実施予定	87	×	○	○	○	○	○	×	×	×	2,694	6,331	1,083	2,063	4,849	829
合計・平均			27,255														64,735	153,010	14,979	2,375	5,614	550

①、③、④の記載例	実施済み⇒ ○ 未実施⇒ × 不要⇒ -	⑤の記載例	平均値の1.4倍以上 ⇒ <span style="background-color: #e0e0e0;">    </span> 床面積当たり(円/㎡)の平均値(それぞれの費用の合計/延床面積の合計) ⇒ <span style="background-color: #e0e0e0;">    </span>
-----------	----------------------------	-------	---

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等  
※2 節水型便器・高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備等

※維持管理費は佐世保市専有部分及び県市共有部分だけではなく、全館に係る管理運営費であるため全館延床面積を記載

市民会館及び市民文化ホールの2施設は耐震安全性が確保できていません。市民会館は平成26年度以降に耐震化と合わせた大規模改修を検討しています。市民文化ホールは、国の登録有形文化財であるため、外観等を変更することができず、さらにレンガ造りの建物であるため、耐震補強には、特殊な工法を用いることが必要となります。そのため、現代建築物より高額な費用が必要となることが予測されますが、平成25年度から大規模な建物保全改修を実施するよう現在検討しているところです。【パターン①】

アルカスSASEBOは、県市合築の比較的新しい施設ですが、環境対応については、今後、検討を行っていくことが望めます。【パターン④】

図表 建物総合評価結果

評価	パターン① 耐震性 老朽化	パターン④ 環境対応
	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> <p>優先1 ①耐震安全性</p> <p>振分基準: ①=1の施設</p>	<p>・環境対応が未完了 ⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>優先4 ④環境対応状況</p> <p>振分基準: パターン1~3以外で④が1~2の施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度</p> <p>市民会館 昭和37</p> <p>市民文化ホール 大正12</p> <p>&lt; 2 施設 &gt;</p>	<p>該当施設 建築年度</p> <p>アルカスSASEBO 平成12</p> <p>&lt; 1 施設 &gt;</p>
コメント	<p>・いずれも旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、環境対応などの対応が望めます。</p>
維持管理費が割高な施設	<p>・下記の施設は、維持管理費が用途内の平均値から1.4倍以上となっています。保有設備や整備状況が要因となっている可能性がありますので、以下のような点について検証が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各所の老朽化により、修繕頻度が高くなっている</li> <li>古く効率の低い設備が使用され続けている</li> <li>利用していない施設や設備に多額の管理費がかかっている</li> </ul> <p>該当施設 建築年度 市民文化ホール 大正12 &lt; 1 施設 &gt;</p>	

利用状況

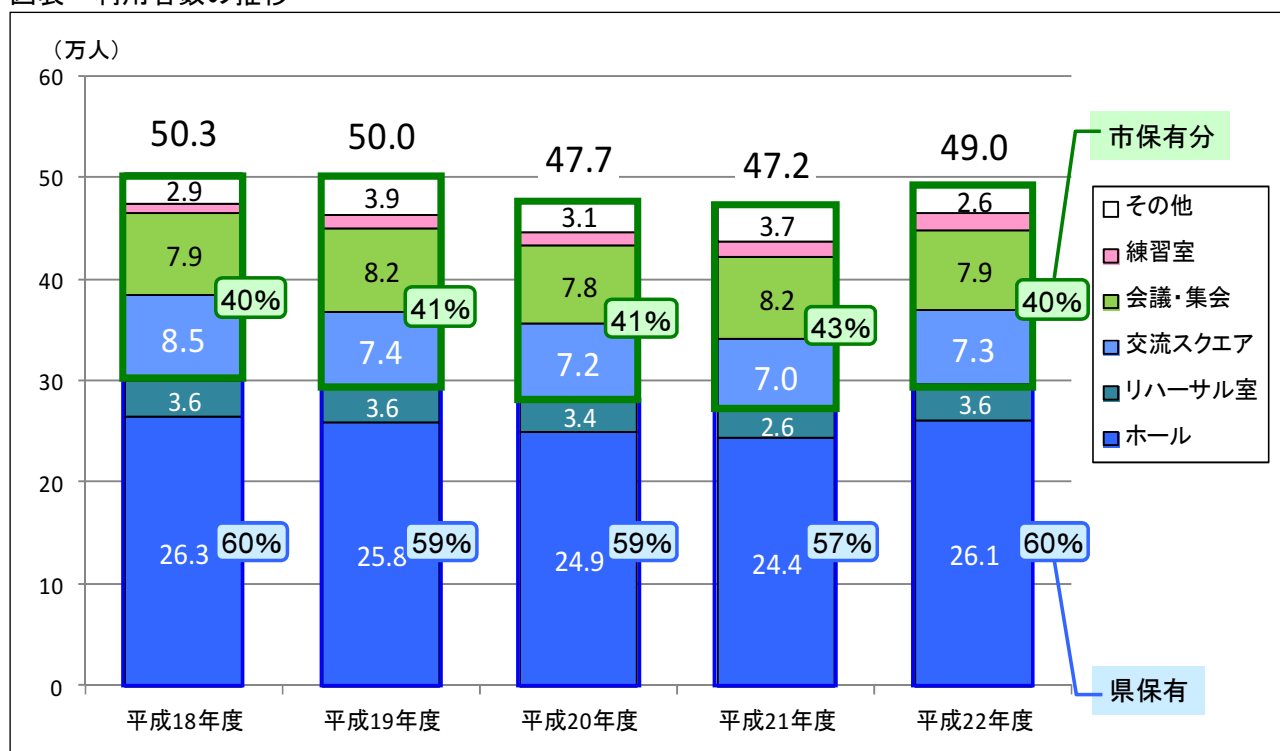
■ アルカスSASEBOの利用状況

アルカスSASEBOの平成22年度の利用者数は、年間49.0万人です。

内訳をみると、ホールが26.1万人と全体の約53%を占めています。会議・集会機能が7.9万人と全体の約16%を占めています。会議・集会機能を含めた市の保有する部分の利用者数は、全体の約40%となっています。

平成18年度からの推移をみると、利用者数は、ほぼ横ばい傾向にあります。（平成22年度は開館10周年事業を開催）

図表 利用者数の推移



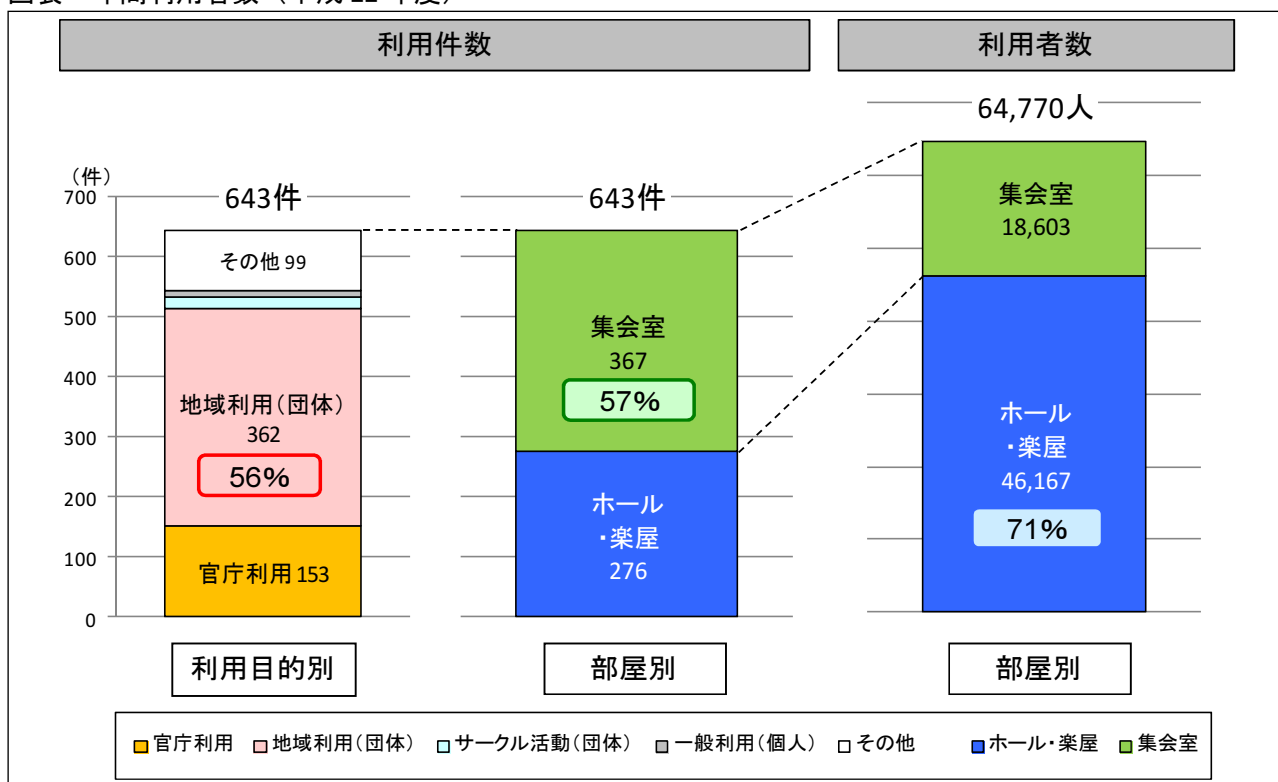
■ 市民会館の利用状況

市民会館の利用件数は年間 643 件、利用者数は 6 万 4,770 人です。利用目的別の内訳をみると、地域利用（団体）が 362 件と全体の約 56%を占めています。他には、市等の官庁利用が 153 件、その他利用が 99 件等となっています。部屋別の内訳をみると、ホールが 276 件、会議・集会機能が 367 件（約 57%）となっています。

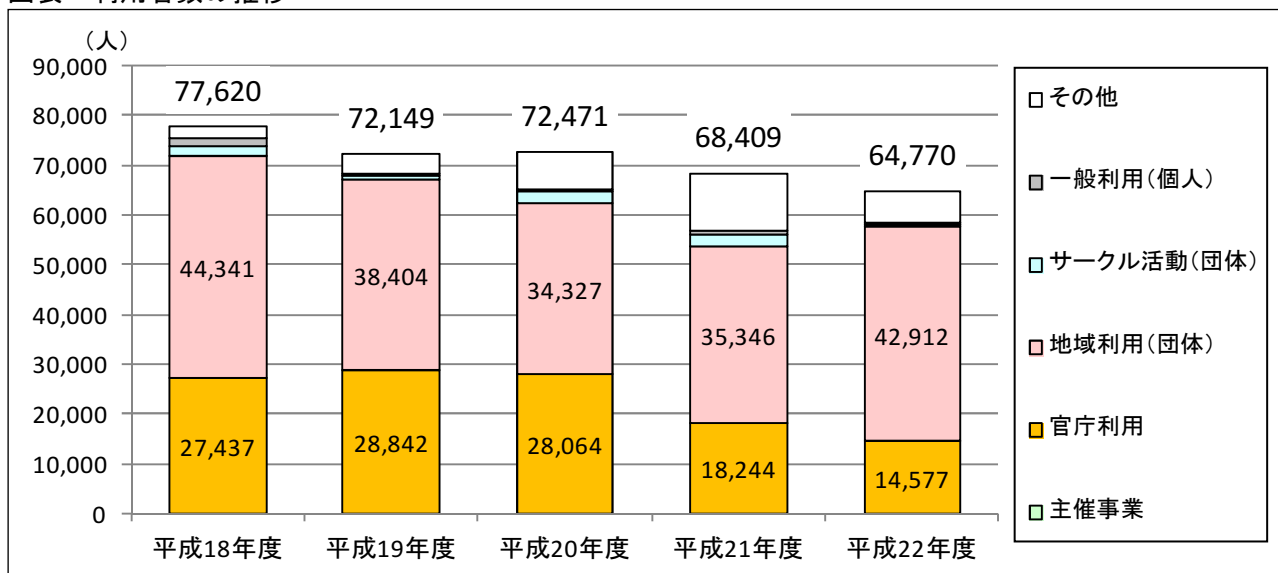
部屋別の利用者数の内訳をみると、ホールが 4 万 6,167 人と全体の約 71%を占めており、ホールを中心とした利用となっています。

平成 18 年度からの推移をみると、平成 18 年度 7 万 7,620 人から平成 22 年度 6 万 4,770 人まで約 1.3 万人（約 17%）減少しています。利用目的別の内訳をみると、アルカス SASEBO 等の類似施設の整備によって、市等の主催事業の利用者数が減少しています。

図表 年間利用者数（平成 22 年度）



図表 利用者数の推移



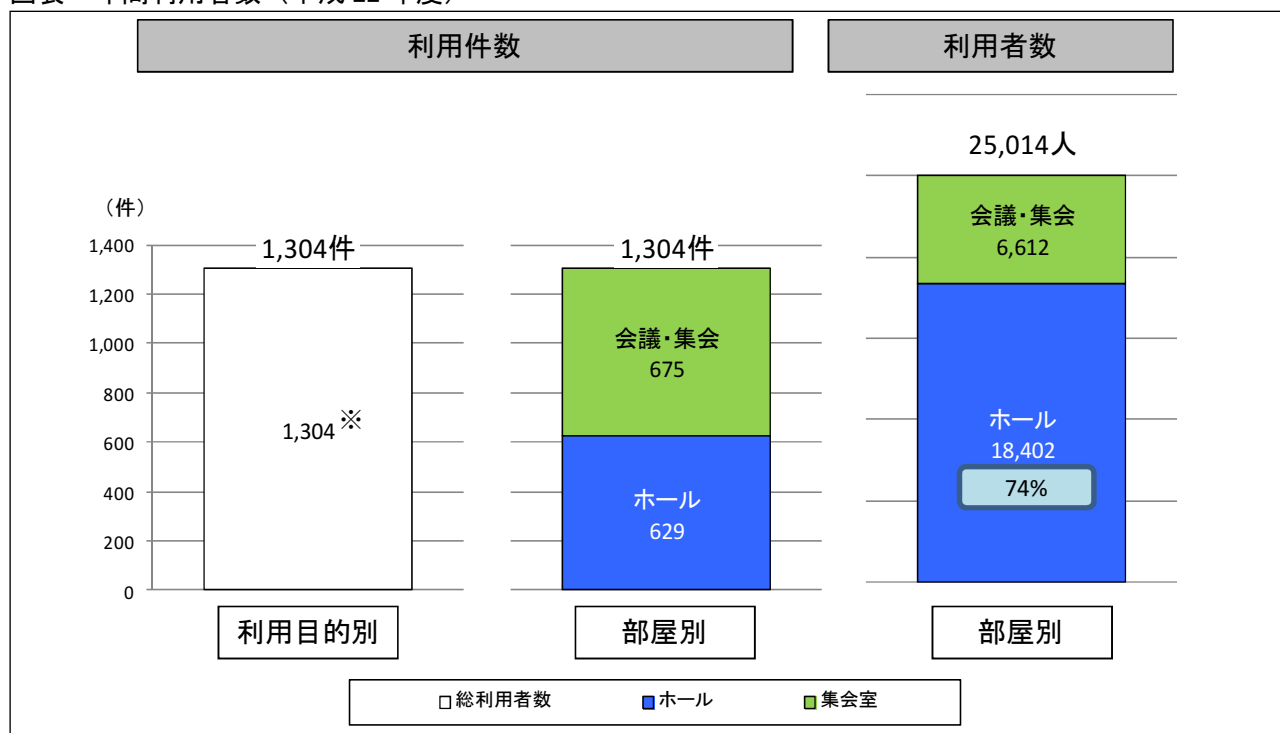
■ 市民文化ホールの利用状況

市民文化ホールの利用件数は年間 1,304 件、利用者数は年間 2 万 5,014 人です。部屋別の内訳をみると、ホールが 629 件、会議・集会機能が 675 件となっています。

部屋別の利用者数の内訳をみると、ホールが 1 万 8,402 人と全体の約 74%を占めており、ホールを中心とした利用となっています。

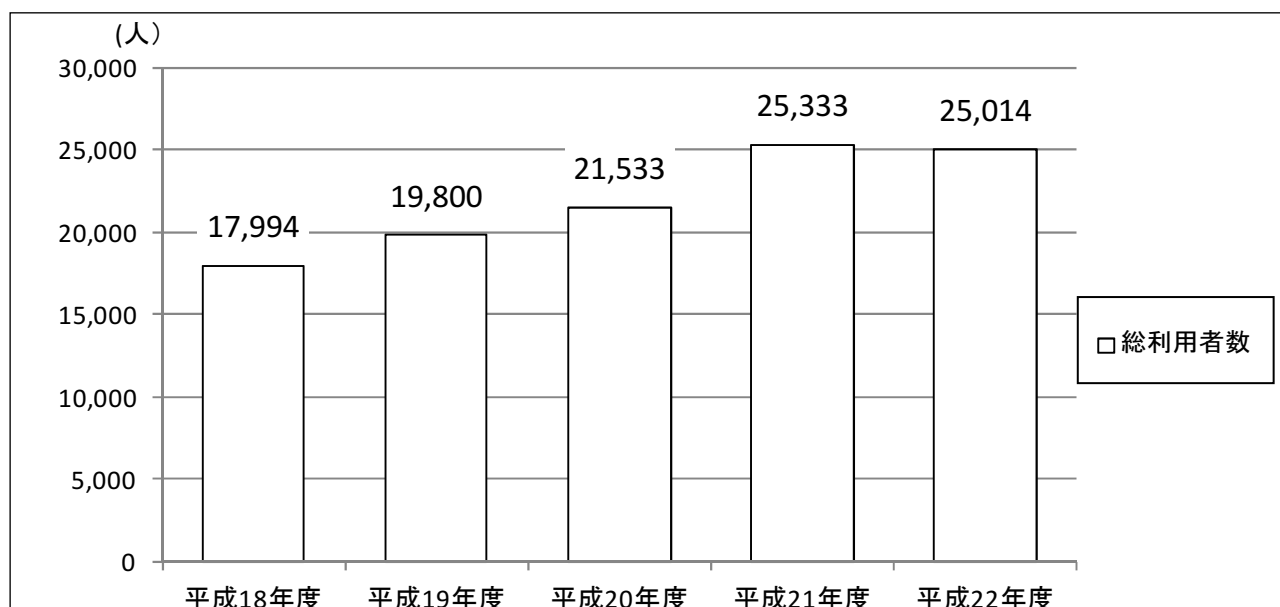
平成 18 年度からの推移をみると、平成 18 年度 1 万 7,994 人から平成 22 年度 2 万 5,014 人まで約 0.7 万人（約 1.4 倍）増加しています。

図表 年間利用者数（平成 22 年度）



※利用目的別の記録が無い場合全体数を記載しています。

図表 利用者数の推移



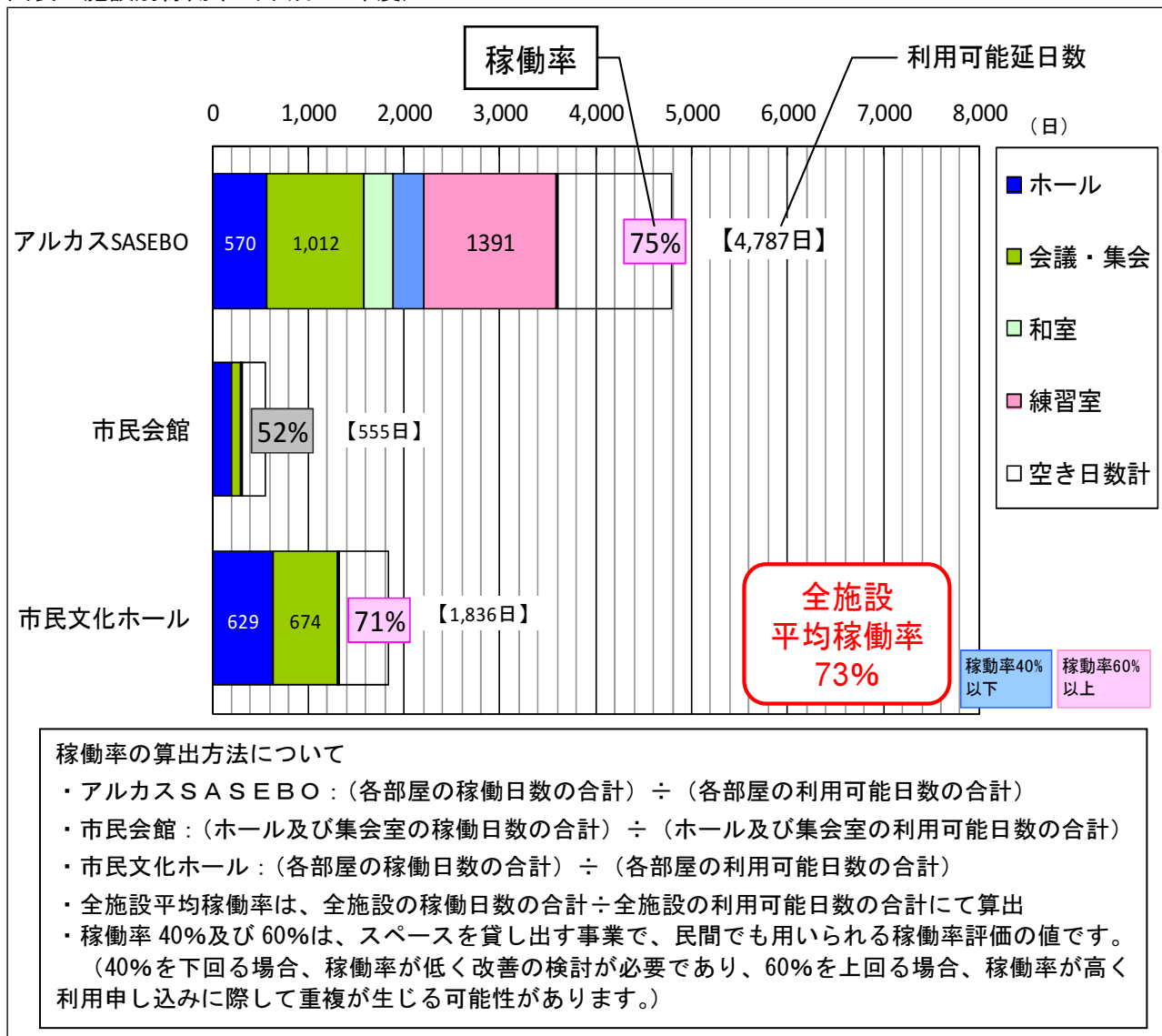


■ 文化施設の稼働状況

文化施設3施設の平均稼働率は、約73%と高くなっています。

施設別にみると、アルカスSASEBOは約75%、市民会館は約52%、市民文化ホールは約71%となっています。

図表 施設別稼働率（平成22年度）





③ 運営状況

■ 運営人員

文化施設3施設のうち、市民会館は市直営で運営しています。アルカス SASEBO 及び市民文化ホールは指定管理者制度を導入し、運営をしています。

運営人員をみると、市直営で行っている市民会館は施設維持管理等に2人、施設利用に関する受付・案内に2人（臨時職員）の計4人です。

指定管理者制度を導入して行っているアルカス SASEBO は、一般職員0.3人、「施設の維持管理のための職員」「主催・共済事業運営のための職員」「予約受付・チケット販売のための職員」として指定管理者職員27人と「舞台等の施設整備の管理運営のための事業所等の職員」7名の計34.3人が従事しています。市民文化ホールは計2人の指定管理者職員と、施設の維持管理に市職員が1人従事しています。

運営体制は、3施設とも、平日・土日に関係なく、職員をローテーションで配置しています。イベント等の開催が多い場合には、重点的に人員を配置して対応しています。

図表 運営人員（平成22年度）

（人）

			アルカスSASEBO	市民会館	市民文化ホール	合計
施設維持管理等	直営	一般職員	0.3	2.0	1.0	3.3
		嘱託職員	0.0	0.0	0.0	0.0
	計		0.3	2.0	1.0	3.3
施設利用に関する受付・案内	直営	一般職員	0.0	0.0	0.0	0.0
		嘱託職員	0.0	0.0	0.0	0.0
		臨時職員	0.0	2.0	0.0	2.0
	計		0.0	2.0	0.0	2.0
指定管理	指定管理	正職員	13.0	0.0	2.0	15.0
		嘱託職員	7.0	0.0	0.0	7.0
		契約職員	7.0	0.0	0.0	7.0
		施設管理員	7.0	0.0	0.0	7.0
	計		34.0	0.0	2.0	36.0
合計	計		34.3	4.0	3.0	41.3

④ コスト状況

文化施設全3施設の年間トータルコストは、4億3,201万円です。

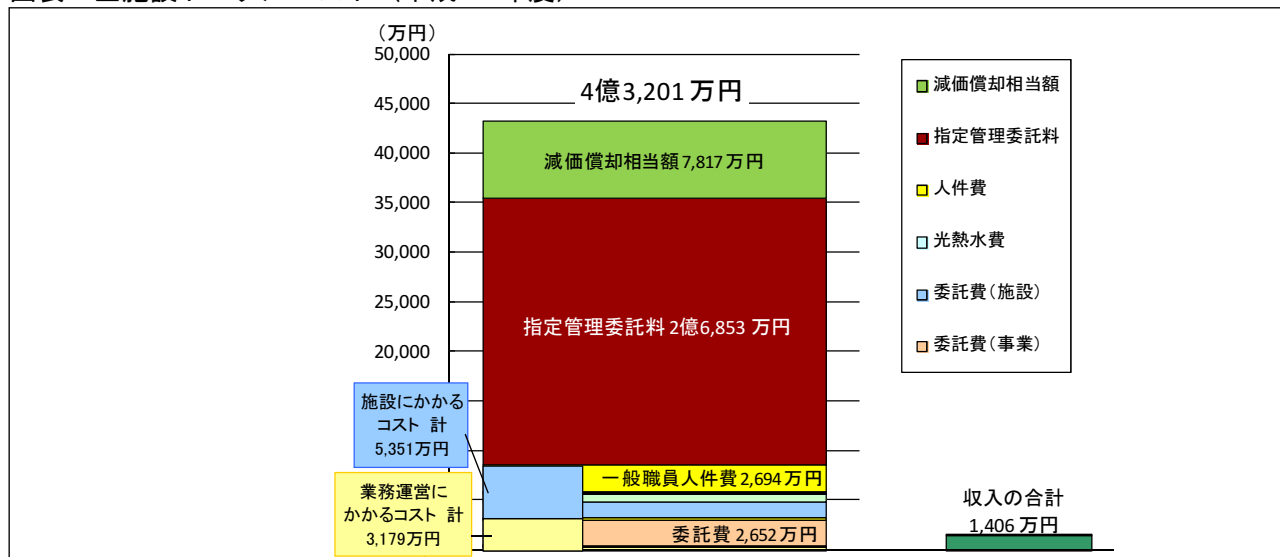
内訳をみると、施設にかかるコスト（修繕費、改修費、光熱水費等）は5,351万円（12%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は3,179万円（7%）、指定管理委託料が2億6,853万円でトータルコストの約62%を占めています。減価償却相当額は7,817万円です。

図表 施設別行政コスト計算書（平成22年度） (円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		アルカスSASEBO	市民会館	市民文化ホール	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	2,449,500	16,330,000	8,165,000	26,944,500
	修繕費		1,572,060	132,720	1,704,780
	改修費			420,000	420,000
	光熱水費		5,979,737	2,694,122	8,673,859
	委託費		6,580,250	9,185,788	15,766,038
	使用料及び賃借料				
	施設にかかるコスト 計	2,449,500	30,462,047	20,597,630	53,509,177
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費				
	嘱託職員人件費				
	再任用職員人件費				
	臨時職員人件費		1,717,686		1,717,686
	修繕費		72,450	49,875	122,325
	委託費		26,520,000		26,520,000
	使用料及び賃借料	30,060	14,700		44,760
	車両・備品購入費		348,547	138,285	486,832
	負担金補助及び交付金	683,418	64,000		747,418
	地方債				
	その他物件費	98,062	1,050,724	1,006,961	2,155,747
事業運営にかかるコスト 計	811,540	29,788,107	1,195,121	31,794,768	
指定管理委託料		262,200,000		6,331,000	268,531,000
現金収支を伴うコスト 計		265,461,040	60,250,154	28,123,751	353,834,945
【収入の部】					
収入	使用料収入		11,269,296	2,500,718	13,770,014
	諸収入		285,614		285,614
収入の合計			11,554,910	2,500,718	14,055,628
II. 現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	42,838,480	35,336,000		78,174,480
III. 総括					
コストの部合計(トータルコスト)		308,299,520	95,586,154	28,123,751	432,009,425
収支差額(ネットコスト)		308,299,520	84,031,244	25,623,033	417,953,797

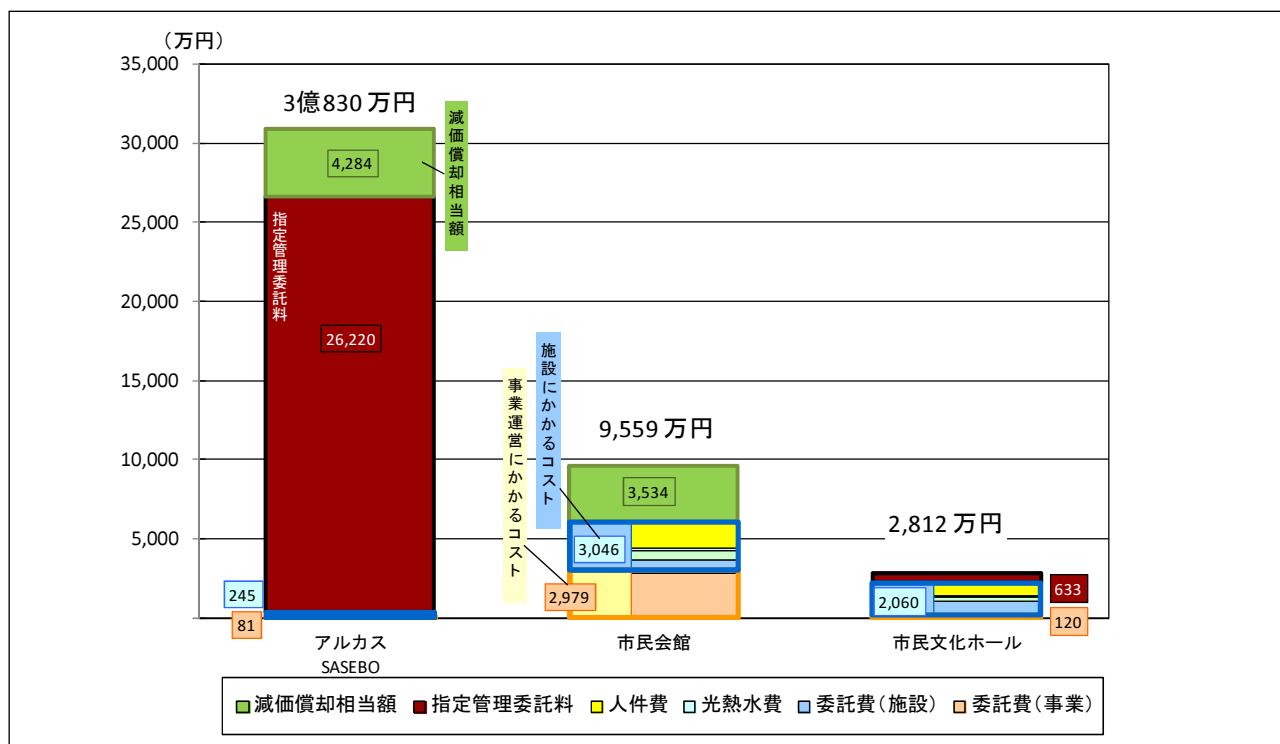
※アルカスSASEBOは、利用料金制を採用しているため、市への歳入は計上されません。  
 ※市民文化ホールは築50年以上を経過しているため、減価償却相当額は0円となります。

図表 全施設トータルコスト（平成22年度）



施設別トータルコストをみると、アルカス SASEBO は 3 億 830 万円、市民会館は 9,559 万円、市民文化ホールは 2,812 万円となっています。

図表 施設別トータルコスト（平成 22 年度）

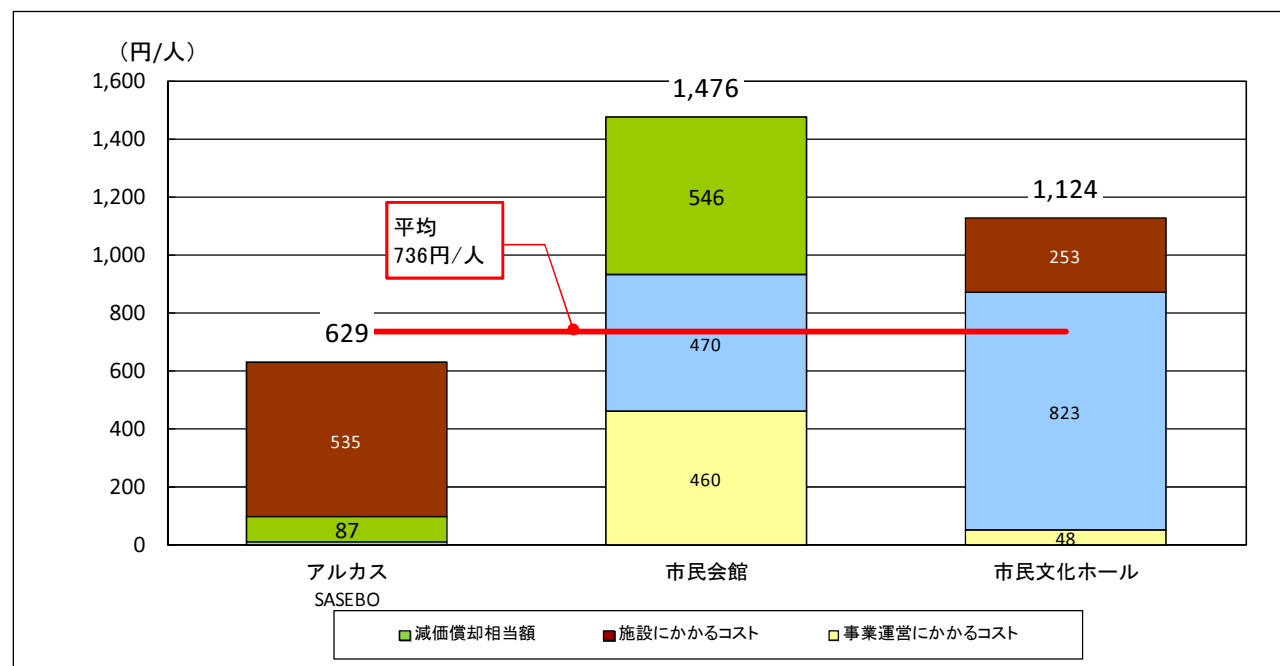


### 3) 評価・分析

#### ■ 利用者数とトータルコストの関係（利用者 1 人当たりにかかるコスト）

利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平均は 736 円です。施設別では、市民会館が 1,476 円、市民文化ホールが 1,124 円です。アルカス SASEBO では 629 円（佐世保市専有部分及び県市共有部分だけではなく、全館に係る管理運営費用の支出であるため、全館利用者数で除算）となっています。

図表 施設別 利用者 1 人当たりにかかるコスト



## 4) 今後の検討の視点

- ホールを中心とした文化施設は、アルカス SASEBO を中心に、市民会館及び市民文化ホールの3施設で行政サービスを行っています。その中で、市民会館及び市民文化ホールを今後維持管理するためには、耐震補強や老朽化対策に、今まで以上に多くの費用が必要となります。一方で利用状況を見ると、施設によっては、減少傾向にある施設もあります。今後は、ホール機能を有する市内の他施設も含めた全市的な整理を行い、その上で施設ごとに施設整備方針や運営方法等、施設のあり方を検討する必要があります。
- アルカス SASEBO については、築10年以上を経過し、今後修繕等が必要になります。県市合築の建物であるため、県との協議等を行いながら、修繕計画を検討し、効率的に実施していく必要があります。
- 市民会館は、利用件数が増加傾向にあるものの、利用者数が減少しています。現在周辺の公共施設との関係や市民ニーズ等を踏まえ、今後の施設のあり方を検討しています。
- 市民文化ホールは、ホール機能としての立地が良く、利用者も増加傾向となっています。一方、建物を維持保全していくためには、特殊な建物であるため、他の施設と比べても多くのコストが必要となります。後世に引き継いでいくべき国の登録有形文化財であることを尊重しながら、今後、市民文化ホールへの市民ニーズ等を踏まえ、ホール機能の代替施設等への移転、利用機能等の見直し及び建物のライフサイクルコスト面からの効率的な施設の維持管理等を検討し、施設のあり方を検討する必要があります。